

日本新舞踊振興会 主催

これが歌謡曲舞踊だ……各流各派会員による

第三回  
新舞踊大会

● 浅草公会堂

● 昭和60年2月11日(祝)  
開演11時／入場料2500円

番組組

開演11時

司会 田窪繁子

■第一部

1 舞

入佐理美子  
馬場三千代  
河治君  
中沢徳美甫  
石岡徳美佐  
織戸喜美枝

2 恋のからかさ

小田長弘子

3 浅草しぐれ

八木延子

4 泣くも笑うも  
一緒にです

佐藤美和  
笠井ことえ  
山城のり子

5 雪 舞 い

真田文代

6 細 雪

森山シズ子

7 お七哀しや

倉持直子

8 紬 の 女

梅津美智子ほか

9 夫 婦 坂

楽踊会  
高嶺楽彰社中

10 舞

荒木ミツ

33 奥飛驒慕情

渡辺辰造

34 浪花節だよ人生は

伊藤操ほか

35 舞

桃珠会  
高嶺徳珠社中

36 矢切りの渡し

本間まさ子  
本間和美

37 湯の町さのさ

武田菊枝

38 恋 扇

真寿美徳美  
中沢徳美甫

39 おとこ港

海野武

40 男の花道

蓑和初江

41 竜馬がゆく

長妻豊子

42 長良川艶歌

松本美世子

43 恋のからかさ

織戸喜美枝  
中沢房子  
石関貞子

44 総司絶唱

桜井キミ子

45 放浪莫産枕

阿部美恵子

46 新土佐節

三喜千勢代社中

25	男の花道	加古川 銀子
24	北の螢	長谷川 京子
23	恋のからかさ	忍田 ちよ
22	あゝ青葉城	三喜千勢代社中
21	黒田節	西山 トミ
20	雨の下町女橋	中村 とよ子 入佐 理美子 石岡 徳美佐
19	俵星玄蕃	蓑和 初江
18	安宅の松風	高嶺 勝八
17	雁のたより	西川 房秀
16	祝めでた	岩間 サチ子 佐藤 愛子 菊地 富子 宮本 良子 箕輪 順子
15	総司絶唱	安藤 輝子
14	おしんの子守唄	山崎 絵美子
13	博多恋人形	河治 君子 織戸 喜美枝 馬場 三千代
12	しのび船	稲崎 弘子 佐藤 康子
11	お役者仁儀	石上かずえほか

60	総司絶唱	松隈 千夜子
59	長良川艶歌	忍田ちよ社中
58	武田節	平佐 守
57	黒田武士	高嶺 楽彰
56	おしんの子守唄	柳原 光子
55	博多恋人形	川合とし子社中
54	おとこ港	楽踊会 高嶺楽彰社中
53	浅草十三夜	滝口 ゆき子
52	寿の舞	永嶋 しき 笹川 紀代子 西田 佐喜子 石井 喜子
51	北の螢	高嶺 彰輔 高嶺 勝貴 高嶺 舞泉 高嶺 勝一 高嶺 勝八
50	赤坂ワルツ	石原 暉子
49	お七哀しや	海野 節子
48	残侠子守唄	久保田 宮子
47	恋椿	河村 さと子

26 おはら月夜

石井はつえ  
宮内みよ子  
小林富貴子  
高梨栄子  
武田よし子

27 雪舞い

小西笑子

28 淡雪権八

藤間芳子

29 序の舞

大塩静子

30 中津小唄

武川しげ子ほか

31 残侠子守唄

西川房秀

■特別番組

榎若勸二郎 歌と踊りのオン・ステージ

唄 榎若勸二郎

●オリジナル曲 雁のたより 踊り 高嶺寿泉

●風雪流れ旅 踊り 高嶺舞泉

●オリジナル曲 流れの女 踊り 高嶺勝八

●浅草しぐれ 踊り 真寿美德美

●お吉物語 踊り 高嶺勝一

●会津の小鉄 踊り 三喜千勢代

●長良川艶歌 踊り 高嶺勝貴

●フィナーレ 浪花節だよ人生は 踊り 高嶺泉勝社中

32 深川情話

宮山律子

61 細雪

本井喜美子

62 舞

佐藤照子社中

63 おんな八幡船

高嶺徳珠

64 湯けむり情話

駒沢歌子  
西山トミ子  
入山理美子  
石岡貞子

65 恋のからかさ

小島智恵子  
西奥まさえ  
西田紀代

66 俵星玄蕃

高嶺勝一

67 深川情話

守屋よね

68 夫婦坂

高嶺左泉  
高嶺勝洋  
高嶺勝花  
高嶺勝衣  
高嶺勝泉  
高嶺泉彰

69 祭り酒

三喜千勢代

70 無法松の一生

高嶺泉勝

■第二部

●特別番組

榎若勸二郎・豊春舞姿花色彩

特別出演 榎若勸二郎

高嶺泉勝

千秋楽

日本新舞踊振興会特別講師  
日本舞踊榎若流宗家

## 御挨拶

初春の候 皆様にはようこそお越し下さいました

此の度 日本新舞踊振興会恒例の新舞踊大会を会員の皆様並びに協賛各社のご協力を得て開催できましたことは誠にご同慶にたえません「これが新舞踊だ！」と銘打って日頃本会の講習会等々で技を磨いてまいりました会員諸氏が所属する各流各派の異りを越えて一堂に集いこのような大会が開催できますことは本会の趣旨であります あくまでも歌謡曲舞踊（新舞踊）を愛好する会員の志ざしを同じくする結束心にはかありません

お蔭様で本会は結成時より舞踊会の天才舞踊家と云われます日本舞踊<sup>うめわか</sup>榎若勸二郎先生を特別講師にお迎えし 先生のすばらしい振付と技をもつてご指導を賜ってまいりました 先生の日本舞踊（古典舞踊）を基礎とした本会の本格派新舞踊は皆様にも高く評価され今や会員が高らかに誇れる舞踊として愛好の方々が激増いたしております 新舞踊と云う新しい舞踊のジャンルは兎角軽視されておりますのが現状であります但本会は真剣に新舞踊に取り組むことによつてそうした風潮を打破して皆様方のご期待に添えますよう今後共一層の研鑽を重ねる所存でございます

何卒 皆様には本日の公演を契機と致しまして益々の御支援ご声援を賜りますようお願い一同と共にお願ひ申し上げる次第でございます

昭和六十年二月十一日

日本新舞踊振興会  
会長 高嶺 泉 勝

役員一同

## ——日本新舞踊振興会の会員になりませんか——

本会は新舞踊（歌謡曲舞踊）を愛好する舞踊家及び同好者の集団です。流派・会派には一切関係ありませんのでどなたでも会員になることができます。本会は定期的に講習会や情報交換、発表公演等を催し会員相互の親睦と利益活動をしております。

●入会金 2,000円 ●年会費 3,000円 ●規定期間受講者には新舞踊指導資格免状が受けられます。

●入会お申込みは——**NSS** 日本新舞踊振興会 略称NSS

本部事務局 東京都江戸川区南小岩8-9-3  
電話 03 (672) 8824 〒133

業務時間 午後1時～6時(土・日・祭休)

榎若勸二郎先生の指導による  
最近の講習会にぜひご参加を……

- 2月15日(金)
- 3月15日(金)
- 4月12日(金)
- 5月17日(金)

■会場 浅草公会堂・第二集会室(4階)  
■時間 午後1時より午後4時まで

新会員随時受付中

主催 日本新舞踊振興会

東京都江戸川区南小岩八丁目九番三号  
電話〇三(六七二)八八二四番テ一三三三

■スタッフ

大道具 明治座大道具  
照明 明治座照明部  
音響 明治座音響部  
衣裳 市川衣裳  
かつら 寿々喜かつら  
小道具 寺内  
顔師 原多美江  
狂言方 平島東憲  
司会 田窪繁子  
ビデオ 日本VTR  
写真 タケウチ写真  
進行 日本新舞踊振興会  
事務局  
協賛 ヨーロー堂レコード  
協賛 レコード各社